

「地域施設計画研究42」の編集主旨と経緯

第42回地域施設計画研究シンポジウムに際して出版した「地域施設計画研究42」は、次のような主旨と経緯、および審査によって編集を行ったものである。

1. 地域施設計画関係の研究や計画に係る人材は、建築計画、都市計画、農村計画、建築史、具体の事例の設計などの広範囲な分野に渡り、対象とする全国各地の地域性もある。それらの各分野・各地域におよぶ研究や計画の成果を研究者・計画者・設計者が持ち寄り、互いに学び、議論を展開することで新たな研究や計画へと相互に発展させる機会を得ることは、地域施設計画の関係者相互にとって大変意義深い。これらの研究成果や計画・設計実践の共有による計画や各自の技能・知識・意欲の相互発展は第一の目標である。
2. また、このシンポジウムを通して構築される人的ネットワークによって、現在、社会的要請の強い課題や緊急に解明される必要のある研究課題に迅速に対応できる体制が構築されることも、この「地域施設計画研究」の出版とシンポジウム開催のもう一つの意図でもある。
3. 現在の各研究者の地域施設計画研究の成果は、もちろん、研究それ自体が理論的な展開などで重要な意味をもつ。さらに、その意味で計画者、設計者、さらに自治体における建築行政関係者などの広範囲の人々に、最新の研究・計画情報として情報発信することの意義は大きい。
4. 以上の点から、次の条件に従った計画研究、または施設計画に有効な結論を明記した研究論文、並びに設計・計画事例報告論文を掲載の対象としている。
 - (1) 新しい課題について計画上有効な知見を得たもの（設計・計画事例論文を含む）。
 - (2) 論文として審査基準に達しているもの。
5. また、2021年度より今後の研究活動の展開に寄与することを目指し、地域施設計画研究に有益な事例を多く収集するために、計画・設計事例部門に以下の2つの部門を設けている。
 - (1) 分野1：著者が関係し地域の住環境整備、まちづくり計画に貢献した地域施設の設計事例
 - (2) 分野2：新しい地域施設の設計・計画提案（設置体系、複合化計画等）事例
6. 審査は2段階で行っている。第1段階は、2000字程度の内容梗概（設計・計画事例部門は800字程度）によって投稿の可否を決定しており、第2段階では各2名の匿名審査員による第2段階の審査を行っている。投稿数の記録は以下の通りで、最終採用編数は研究論文部門45編、計画・設計事例部門13編の合計58編である。

| | 第1段階（概要審査） | | 第2段階（本論審査） | | | | 最終採用 編数 (付帯意見 付含む) |
|---------------|------------|----|------------|---------------------|-----|---------------------|-----------------------------|
| | 投稿 | 採用 | 投稿 | 採用 (付帯意見 付含む) | 不採用 | 再提出 (再々提出 含む) | |
| 研究論文 部門 | 51 | 51 | 47 | 4 | 2 | 41 | 45 |
| 計画・設計 事例部門 | 14 | 14 | 14 | 3 | 0 | 11 | 13 |

「再提出」には修正条件を提示して修正箇所の説明と論文の再提出を求めた。また、「採用」でも「意見付」の場合は、意見を提示し、その修正については任意とした。なお、第2段階本論審査において2名中1名の審査結果が不採用であった2編は幹事会による判定を行い、全て再々提出とした。

7. 論文（41号）の企画調整、および審査は下記のメンバーが担当した。
企画調整および審査（委員交代時期をまたぐため、小委員会メンバー一覧とは必ずしも一致しない）

| | | | | | | | | |
|---|---|---|-----------|---|---|---|---|---|
| 青 | 木 | 嵩 | 大阪大学 | 小 | 篠 | 隆 | 生 | 新 |
| 天 | 野 | 克 | 東京都市大学 | 落 | 合 | 正 | 行 | 渡 |
| 池 | 添 | 昌 | 福岡大学 | 高 | 木 | 真 | 人 | 戸 |
| 下 | 倉 | 玲 | 呉工業高等専門学校 | 細 | 田 | 智 | 久 | 友 |
| 歳 | 森 | 敦 | 筑波大学 | 山 | 田 | あ | す | リ |
| 中 | 井 | 孝 | 愛知工業大学 | 横 | 田 | 隆 | 司 | ビ |
| 中 | 島 | 美 | 香川大学 | 李 | 田 | 隆 | 司 | ン |
| 西 | 野 | 登 | 金沢大学 | 若 | 竹 | 雅 | 宏 | グ |
| | | 子 | | | | | | ラ |
| | | 也 | | | | | | ボ |

審査

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 浅 | 井 | 秀 | 子 | 鳥 | 取 | 大 | 学 | 広 | 田 | 直 | 行 | 日 | 本 | 大 | 学 | |
| 伊 | 丹 | 絵 | 美 | 大 | 阪 | 大 | 学 | 古 | 田 | 莉 | 香 | 日 | 本 | 大 | 学 | |
| 浦 | 部 | 智 | 義 | 日 | 本 | 大 | 学 | 松 | 原 | 茂 | 樹 | 大 | 阪 | 大 | 学 | |
| 荻 | 原 | 雅 | 史 | 東 | 京 | 電 | 機 | 馬 | 渡 | 幸 | 龍 | 八 | 戸 | 工 | 業 | |
| 加 | 藤 | 悠 | 介 | 金 | 城 | 学 | 院 | 三 | 島 | 幸 | 子 | 高 | 等 | 専 | 門 | |
| 古 | 賀 | 政 | 好 | 東 | 京 | 電 | 機 | 三 | 友 | 奈 | 々 | 学 | 校 | | | |
| 小 | 松 | 尚 | 治 | 名 | 古 | 屋 | 大 | 宮 | 崎 | 真 | 涉 | 日 | 本 | 大 | 学 | |
| 佐 | 藤 | 栄 | 至 | 宇 | 都 | 宮 | 大 | 村 | 川 | 真 | 紀 | 東 | 京 | 電 | 機 | |
| 武 | 田 | 寛 | 子 | 火 | 葬 | 研 | | 山 | 崎 | 信 | 晋 | 日 | 本 | 大 | 学 | |
| 出 | 口 | 唯 | 貴 | 大 | 阪 | 大 | 学 | 山 | 田 | 信 | 博 | 札 | 幌 | 市 | 立 | |
| 中 | 嶋 | 雅 | 司 | 北 | 海 | 道 | 大 | 吉 | 村 | 英 | 祐 | 大 | 阪 | 工 | 業 | |
| 日 | 野 | | | 東 | 京 | 電 | 機 | 吉 | 村 | 典 | 彰 | 東 | 京 | 電 | 機 | |
| | | | | SALHAUS | | | | 渡 | 部 | 大 | 大 | 北 | 海 | 道 | 大 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 授 |